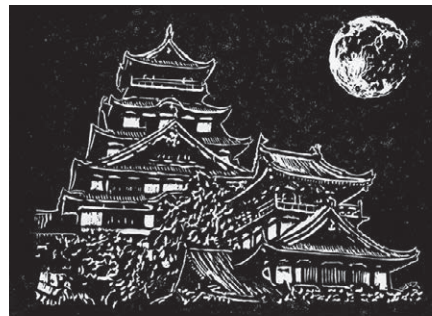


# 高山の文化



「こども夢創造事業・飛騨木版画を体験してみよう！」  
で制作された作品  
全作品は文化フォーラムで展示予定です。

令和六年度に向けて

## 高山市文化協会の魂を識る

永井荷風の作品に「震災」という詩があります。

「われは明治の兒ならずや。その文化歴史となりて葬られし時、わが青春の夢もまた消えにけり」

震災とは、大正十二年の関東大震災のことで、荷風は震災が江戸の残影や風情までも奪ってしまったと嘆いています。「江戸文化の名残烟となりぬ」  
明治の文化また灰となりぬ」

荷風の慟哭が伝わってくるようです。今回の能登半島地震による能登の人びとの心の痛みは、荷風の心に相通ずるものがあると思います。

土地の風土は、自然、歴史そして文化が重なり合って作られ、そして、その土地の民俗が作られます。「寛火和烟得」（火を覚めては烟を和して得る）という言葉は、万物が互いに融合して作られる様を表し、郷土を愛する日本人の生き方を表しています。

高山の文化は、縄文時代から現代へと続く歴史の連続性の中で今があります。高山市文化協会は、昭和二十四年に創立以来、七十五年の歴史を歩んできました。私が就任の挨拶に掲げた「温



一般社団法人  
高山市文化協会  
会長 河渡正暁

故知新」という言葉は、論語の「故きを温ねて新しきを知れば、以て師と為るべし」（為政）から来ており、過去の物を事を研究し吟味してこそ、新しい知恵や技が生まれることを意味しています。当協会は「温故知新」の魂を大切にしています。

さて、高山市は令和五年三月、「ふれあい×にぎわい×つながり」を掲げた、高山駅西地区まちづくり構想を策定しました。これには、「市民の笑顔と心はずませるプラットフォーム」を基本コンセプトとした現文化会館に代わる新たな施設の建設計画も含まれています。

その施設は、文化芸術分野に留まらず、子育て支援や福祉、健康、情報など様々な機能を有する、新時代にふさわしい壮大な計画です。それらが独立して機能するのではなく、相互に融合して新たな付加価値やネットワークが創出されるような施設になることを、大いに期待しています。

当協会は、その計画に先立ち、令和三年十一月に、高山市に対して「新文化会館建設計画提言書」を提出しました。また、令和六年二月には、「高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画書」に関する意見書を提出しました。

これからも当協会は、高山市とともに持続可能なまちづくりのために、その一翼を担うことを誓い、新年度にあたっての挨拶とさせていただきます。

## 高山市文化協会 会員募集

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様と地域文化の発展に寄与しています。当協会にぜひ入会していただき、これからの高山の文化を応援してください。

- ◆入会資格 どなたでもご入会いただけます。
- ◆年会費 個人 4,000円、団体 7,000円、賛助（企業）12,000円
- ◆特典① 毎月発行する広報「高山の文化」及び各種案内を郵送します。
- ◆特典② 高山メセナメイトと同様の会員資格（チケット優待、他）が得られます。なお、個人会員は2名分、団体会員は4名分、賛助会員は5名分。
- ◆特典③ 広報やHits FMを使い、団体の紹介や発表会の告知を行う事ができます。また、個人・団体会員は6月開催の高山文化フォーラムに参加できます。
- ◆特典④ 会員対象の研修旅行や講演会を開催します。

## 「風目（目）」

八十一歳を半寿と言うとは知らなかった。古希から喜（崑）寿、傘（全）寿、米寿、卒（卒）寿、白寿、百寿くらいまでは知っていた。「半」の字は、分解すると八と十と一の組み合わせとなり八十一。はーん！ステーキの焼き加減で「ミディアムレア」なんてのは「八十一焼き」かな？権力者の藤原道長が「望月の欠けたることのなしとおもへば」と傲慢に歌っているが、謙虚に半月くらいにしとけばなんて思う。

八十一歳は、盤寿とも言おうぞうだ。将棋盤のタテヨコの目が九×九で八十一。駒を八十一ヶ所に置ける。起きて半畳寝て二畳天下取って二合半、なんて知ったかぶりの半可通。

華寿、緑寿、星寿、珍寿、紀寿、頑寿……。漢文にも強かったという紫式部なら分かるだろうか。文字と数字のコラボ、アナタいくつ解けますか？

高山のみだらし屋さんも数字を上手く使っている。

一・二・三、二・四・三、六・三・四。

（ガンモンモ筆）

「お茶を心から楽しんだ母」  
二木豊子

川上省吾（宗隆）



昭和25年頃

母・豊子は、昭和二年、新潟県に生まれました。二木酒造に新潟から杜氏が来ていたことなどのご縁により、昭和二十三年、高山へ嫁いできました。当時の新潟は発展していた都市で、新潟の親戚からは、高山のような山奥に嫁いでいくことについて反対意見もあったと聞いています。学生時代を東京で過ごした母も、最初は戸惑ったと言っていました。

父（豊子の夫）が四十二歳の若さで他界し、兄が高校生、私が中学生で家業は母が継ぐことになりました。古いしきたりの多い飛騨高山で、女性がトップで家業を継いでいくことは、大変だったと母はよく話していました。

実際、私は母が作業服を着て前掛けをしてトラックの助手席に乗って小売店に売り込みに出かける姿を大変だなと思っていました。気丈な姿を見せていましたが、疲れて帰ってきたときに私が「目玉焼きでも作ろうか？」といった言葉をずっと気にしていたようで、「子供達には絶対疲れた姿を見せてはいけない」というのを肝に銘じて仕事をしていたと、話してくれました。酒造業の社長、二人の子供の母として、時には「父」として大変だったと思います。

兄が高校卒業後の進路を東京農大の醸造科を目指すことにしたときは、きつと母はほっとしていたと思います。私も東京の大学に進学したこともあり、仕送りが大変だったと後に聞き



川上宗隆先生のもとで、お茶を習い

ました。その後、親戚にあたる京都の久田尋牛斎宗匠の元にお稽古に出向くようになりました。お稽古場では、習ったことをメモすることなどは許されず、帰りの高山線の鈍行に揺られながら、お菓子を乗せる懐紙に走り書きをしていたそうです。同じく茶道を志している私も同じことをしており、今でも分からないことがあると見直す貴重な資料です。

生前母が一生の思い出と語っていたのは、平成十九年五月に高山で開催された表千家全国大会です。その際、本部から古い町並みの中の二木酒造でお茶席を設けてほしいといわれたのですが、それまでホテルや寺院、公共施設などでの開催が基本であり、一般住宅での茶会は、過去に例がなく母は大変悩んだそうです。

兄の応援を得て、表千家同門会本部、支部役員の皆様とともに全国からおいでいただいた約千人のお客様を無事笑顔で迎えることができた大変喜んでおりました。

母は、私が表千家と親戚にあたる川上家を継ぐことをすごく喜んでくれました。私が会社勤めを辞め高山で茶道を教えることができるよう、一階はすべてお茶の稽古場とした住居を建築し、自分の理想であった若い方達にお茶の楽しさを伝える努力をしていました。



米寿の茶会にて

足が悪くしてからは、利休百首にある「茶の湯とはただ湯を沸かし茶をたてて飲むばかりなり」と知るべし。まさにそれを実践して、花を生け、湯を沸かし、お弟子さんが来てくれるのを待っていました。そんな日常に感謝し、毎日のお茶を楽しんでいた母でした。

りごとが多く窮屈な世界と思われていますが、相手をもてなすことを至上の喜びとする茶事には必ず美味しい懷石、お酒が付きもので、盃事のお稽古は千鳥のお稽古と言われ、一座建立の茶事には無くてはならない大切なものです。毎回お稽古日になると、稽古場の設えをその季節に合ったもの、お客様が喜んでいただけるものを用意していました。客となる楽しみ三割、亭主の楽しみ七割といわれています。亭主は大変なことばかりですが、お客様の笑顔を見ることが一番楽しいことだと教えられました。

八月の「ナスカデザイングッズ」(十二月の「恐竜折り紙」)に続き、次の事業を実施しました。

こども夢創造事業のご報告

四コマ写真を作ろう！  
三月二十日  
自分たちでストーリーを考え、文化会館内のあちこちで撮影を行い、貼り合わせて4コマ写真を作り、プロジェクトで発表しました。独創的な4コマ写真ができました。

第48回 飛騨文芸祭作品募集

令和六年度の飛騨文芸祭の作品を募集します。奮って応募ください。

- 一、応募資格 飛騨地域在住・在勤・出身の方(町名を明記)
二、対象作品 昨年八月十六日から本年八月十五日までに創作または発表した作品(既発表作品も可)
①小説、戯曲(脚本)、児童文学等 原稿用紙百枚以内

- ②随筆(エッセイ)等 原稿用紙二十枚以内 一篇
③評論 原稿用紙五十枚以内 一篇
④現代詩 三篇
⑤短歌、俳句 十首・句

- ▽応募作品に、作品の区分、住所、氏名(筆名)、電話番号を記入
▽高校生以下の応募者は、学校名と学年を明記
四、応募締切、送付先
▽八月十五日(当日消印有効)
▽郵送 〒五〇六・〇〇五三 高山市昭和町一・一八八・一 高山市文化協会事務局宛
▽メール、ホームページからの応募、及び文化会館窓口への提出も可

- 五、審査、発表
▽選考委員・桐山吾朗、広瀬浩二、大野鶴士、他、及び当協会文芸委員
▽十月の広報「高山の文化」にて発表します。
六、賞
文芸祭賞のほか、各賞があります。(高校生以下は、青竜大賞など)
七、その他
▽応募作品は返却しません。
▽問合せ 高山市文化協会 (TEL三四・六五〇)



- 二、二月十日 飛騨木版画を体験してみよう！
子どもたちが自分で描いた絵を元に、自分で板に彫り込み、バレンを使って版画を摺りました。子どもたちは楽しんで、満足できるまで何枚も摺っていました。
(一社)高山市文化協会加盟団体
文化協会後援 催事案内
第十五回 一滴会書展
日時 四月二十六日(金)
二十八日(日) 午前九時～午後五時(最終日午後四時まで)
会場 文化会館・二階展示室
入場無料

令和6年度(一社)高山市文化協会事業計画
Table with columns: 月日, 事業名, 内容・場所

※この他にもいくつかの事業を予定しています。日程は変更する場合がありますので、ご了承ください。

飛騨春慶弦楽器 出前コンサート
本年度第1回目の出前コンサート
6/2(日)の11:00から19:00までの間で3公演(予定)
募集のお知らせ 上記時間内での出前前募集中
(一社)高山市文化協会 TEL34-6550 mail@takayama-bunka.org

道伝えの日
道伝え茶会
新春飾り物秀作展
4.27(土) 28(日)

- 道伝え茶会は、平成十七年の高山市文化伝承館開館当初から行っている恒例行事です。コロナ禍により四年間中断していましたが、今年度より再開します。
とかく難しいものと思われがちな茶道を、気軽に楽しんでいただくことを目的として開催しています。普段着で結構です。お気軽にご来場ください。
併せて一月に開催した「新春飾り物展」の入賞作品を展示します。
皆様のお越しをお待ちしています。
◇会場 高山市文化伝承館
神明町四丁目「正雲寺坂」を上る。又は、城山照蓮寺西側の階段を下る。
※伝承館駐車場は台数に限り
◇四コマ写真を作ろう！
三月二十日
自分たちでストーリーを考え、文化会館内のあちこちで撮影を行い、貼り合わせて4コマ写真を作り、プロジェクトで発表しました。独創的な4コマ写真ができました。

「まやか」  
初心者講座  
たかやま  
菊花会  
のお知らせ

たかやま菊花会では、日本の花である菊を育てる初心者講座を開催します。

よく見かけるドーム菊だけでなく、三本立ての本格的な菊、手ごろな盆栽菊や迫力のある懸崖菊など、あなただけの菊を育ててみませんか。

苗や土、鉢などは、当会がご用意しますので、お気軽にご参加いただけます。

育てた菊は、十月から十一月にかけて開催するたかやま菊花展において展示します。

◆部門 大菊「ドーム菊・三本立て」又は小菊「盆栽菊・懸崖菊」

◆日程 五月八日(水)～十月二日(水)まで。三週に一度、午後一時三十分より

◆会場 櫻山八幡宮絵馬殿

◆参加費 一部門二千円

◆定員 各二十名(先着順)  
文化会館で配付する申込用紙に必要事項を記入の上、窓口にて提出かFAX(〇五七七・三四・六八七七)にて、四月二十五日(木)までにお申し込みください。

※QRコードからもお申し込みいただけます。



市民文化芸術鑑賞事業

●主催 高山市・(一社)高山市文化協会 ●お問合せ (一社)高山市文化協会(tel.0577-34-6550)



# 山中千尋

## Tri-o

### Special Live 2024

山中千尋トリオ・スペシャルライブ 2024 in 飛騨高山

ピアニスト、作曲家。ニューヨークを拠点に世界を駆ける、日本が誇る女性ジャズ・ピアニスト山中千尋。リリースされたアルバムは、すべて国内のあらゆるJAZZチャートで1位を獲得。米メジャー・レーベルのデッカ・レコードとも契約を果たし、全米デビューも飾った。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているピアニスト。

山中千尋公式ホームページ <https://www.chihiroyamanaka.net/>



**6/1** 久々野公民館ホール  
午後3時30分開演 / 午後3時開場  
※開演時間が変更になりました。

チケット料金(税込)	全席指定	発売日
[一般].....3,000円		4月6日(土) 午前10時一斉発売 ※ネット受付/午後1時～
[メセナメイト会員].....2,500円		
[ジュニア(18才以下)].....500円		

プレイガイド  
高山市民文化会館(0577-33-8333)、久々野公民館(0577-52-3112)  
チケットぴあ(Pコード 266-356)  
ネット受付(特設ページより)  
<http://www.takayama-bunka.org/wp6/20240601chihiro/>



ワンコインシネマ ワンコイン500円で映画を楽しめます!

ホイットニー・ヒューストン  
I WANNA DANCE WITH SOMEBODY

2022年作品144分 英語音声・日本語字幕  
「ボヘミアン・ラブソディ」のアンソニー・マッカーテンが脚本、「ハリエツ」のケイシー・レモンスが監督を務め、ジャンルも人種も超えて愛された数々の楽曲の誕生の瞬間や、歌うことに全てを捧げた彼女の栄光と苦悩を、「I Will Always Love You」など数々のヒットソングとともにドラマティックに描き出す。

**4/24** ①午後2時～  
②午後7時～  
水(開場各回30分前)  
高山市民文化会館 小ホール

全席自由 **500円** | ワンコインシネマ  
1回券(当日同額)

プレイガイド 高山市民文化会館

<http://www.takayama-bunka.org/wp6/20240424onecoin/>



ワンコインシネマチケットは、4/9(火)より文化会館窓口で販売を開始します。

※当日会場入り口でも販売します。